議　事　日　程　第　１　号

令和４年５月２７日（金）午前１０時開議

日程第１　会議録署名議員の指名

日程第２　会期の決定

日程第３　報第　１号　専決処分事件の報告について

日程第４　承第　１号　専決処分事件の承認を求めることについて

日程第５　議第３６号　米沢市固定資産評価員の選任について

日程第６　議第３７号　令和４年度米沢市一般会計補正予算（第１号）

本日の会議に付した事件

議事日程第１号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（２２名）

１番	鳥	海	隆	太	議員	２番	成	澤	和	音	議員
３番	齋	藤	千	恵子	議員	４番	古	山	悠	生	議員
５番	井	上	由	紀雄	議員	７番	小久保		広	信	議員
８番	影	澤	政	夫	議員	９番	髙	橋	英	夫	議員
１０番	高	橋		壽	議員	１１番	堤		郁	雄	議員
１２番	関	谷	幸	子	議員	１４番	山	村		明	議員
１５番	山	田	富	佐子	議員	１６番	佐	藤	弘	司	議員
１７番	太	田	克	典	議員	１８番	我	妻	徳	雄	議員
１９番	島	貫	宏	幸	議員	２０番	木	村	芳	浩	議員
２１番	相	田	克	平	議員	２２番	工	藤	正	雄	議員
２３番	中	村	圭	介	議員	２４番	島	軒	純	一	議員

欠席議員（１名）

６番　小　島　一　議員

出席要求による出席者職氏名

市長	中川　勝	副市長	大河原　真　樹
総務部長	神保朋之	企画調整部長	遠藤直樹
市民環境部長	安部道夫	健康福祉部長	山口　恵美子
産業部長	安部晃市	建設部長	吉田晋平
会計管理者	栗林美佐子	病院事業管理者	渡邊孝男
市立病院事務局長	和田　晋	総務課長	髙橋貞義
財政課長	土田　淳	政策企画課長	伊藤昌明

出席した事務局職員職氏名

事務局長	三原幸夫	事務局次長	細谷　晃
総務主査	澁江嘉恵	議事調査主査	曽根浩司
主査	堤　治		

午前　９時５９分　開会・開議

○相田克平議長　おはようございます。

ただいまの出席議員22名であります。

去る５月20日招集告示されました令和４年５月臨時会はここに成立いたしました。

ただいまから令和４年米沢市議会５月臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は議事日程第１号により進めます。

日程第１　会議録署名議員の指名

○相田克平議長　日程第１、会議録署名議員の指名でありますが、会議規則第88条の規定により指名いたします。

４番　古　山　悠　生　議員
１０番　高　橋　　壽　議員
１８番　我　妻　徳　雄　議員

以上３名の方にお願いいたします。

日程第２　会期の決定

○相田克平議長　次に、日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期を本日１日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日１日間と決定いたしました。

日程第３　報第１号専決処分事件の報告について

○相田克平議長　次に、日程第３、報第１号専決処分事件の報告についてを議題といたします。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　質疑を終結いたします。

本件は報告事項でありますので、御了承願います。

日程第４　承第１号専決処分事件の承認を求めることについて

○相田克平議長　次に、日程第４、承第１号専決処分事件の承認を求めることについてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。中川市長。

〔中川　勝市長登壇〕

○中川　勝市長　おはようございます。

ただいま上程になりました承第１号専決処分事件の承認を求めることについて説明いたします。

まず、処分第２号令和３年度米沢市一般会計補正予算（第12号）は、公共施設等整備基金積立金や、ふるさと応援寄附金制度推進事業費の増額補正のほか、社会資本整備総合交付金（除雪対策事業）の変更交付決定などに伴う財源組替えを行ったものであります。

次に、処分第３号令和３年度米沢市立病院事業会計補正予算（第３号）は、薬品費の増額補正を行ったものであります。

次に、処分第４号米沢市市税条例の一部改正については、地方税法等の一部改正に伴い、土地に係る固定資産税の負担調整措置について、令和４

年度に限り、商業地等に係る課税標準額の上昇幅を半減させる等の所要の改正を行ったものであります。

次に、処分第５号米沢市国民健康保険税条例の一部改正については、地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額を引き上げたものであります。

以上４件は、緊急を要したため、地方自治法第179条第１項本文の規定により専決処分したもので、同条第３項の規定によりその承認を求めるため提案するものであります。

何とぞ御了承賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長　ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　なければ議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

承第１号を承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　御異議なしと認めます。

よって、承第１号は承認することに決まりました。

日程第５　議第３６号米沢市固定資産評価員の選任について

○相田克平議長　次に、日程第５、議第36号米沢市固定資産評価員の選任についてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。中川市長。

〔中川　勝市長登壇〕

○中川　勝市長　ただいま上程になりました議第36号米沢市固定資産評価員の選任について説明いたします。

本案は、本市固定資産評価員髙橋利明氏の辞任に伴い、その後任として本市総務部税務課長相田英晴氏を選任したく、地方税法第404条第２項の規定により議会の同意を求めるため提案するものであります。

何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長　ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

議第36号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　御異議なしと認めます。

よって、議第36号に同意することに決まりました。

日程第６　議第３７号令和４年度米沢市一般会計補正予算（第１号）

○相田克平議長　次に、日程第６、議第37号令和４年度米沢市一般会計補正予算（第１号）を議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。中川市長。

〔中川　勝市長登壇〕

○中川　勝市長　ただいま上程になりました議第37号令和４年度米沢市一般会計補正予算（第１号）

について説明いたします。

本案は、新型コロナウイルス感染症対策として実施するプレミアム付き商品券事業負担金や、よねざわ食旅！お得に日帰り旅行キャンペーン事業に要する経費など、緊急に補正を必要とする事業費として２億5,766万3,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は410億4,766万3,000円になります。

これらに伴う財源といたしましては、特定財源として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を含む国県支出金を増額補正しようとするものであります。

よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長　ただいまの市長説明に対し、御質疑ありませんか。１番鳥海隆太議員。

○１番（鳥海隆太議員）　おはようございます。

私から補正予算――プレミアム付き商品券、この部分の予算が大きいのかなとは思います。そこについて何点かお聞きしたいと思います。市長でなくとも担当部長からでもお答えいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

前に頂いた資料を拝見いたしますと、やはりイニシャルコストという部分の経費が結構かかっていると思います。この電子化の部分も今回は行うということで、それに関連したイニシャルコストもかかるのだろうなとは思ったのですけれども、このイニシャルコストを今回これだけ使うわけですから、次回やるとしたら恐らくそういった導入の部分は抑えられてくるものではないかと思いますが、いかがなものかということが１点。

あとは、以前にもありましたプレミアムクーポン――商品券ではなかったのですけれども、クーポンという事業がありまして、そこで手を挙げたところが、取り扱いたいというお店が断られたということがありました。どういうことだということで、いろいろ話題になったかと思うのですが、今回は約700軒ということでありますけれども、もしそれ以上に取り扱いたいという商店とか、そういうところが集まった場合に、また前回のように抽せんしますとか、お断りしますとか、そういう形になるのかどうなのか。

私は自分の意見を申し上げさせていただければ、手を挙げたところはやはり全店舗受け入れるべきだと、制限を設けるべきではないと思うわけなのですが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　まず１点目についてお答えいたします。

今回システム導入したものについては次回も活用できますので、イニシャルコストの分につきましてはもし今後同様の事業を行う際には、ある程度削減できるものと考えております。

あと２点目の取扱事業所の件でありますけれども、こちらにつきましては昨年実施した商品券事業と異なる点を御説明し切れなくて、大変申し訳ございませんでした。昨年は事業者支援という点が一番大きかったものですから、その取扱店で買った商品券はそのお店でしか使えないということもありまして、いろいろ課題もあったところですけれども、今回の商品券事業につきましては取扱いしたいという事業所については、全て取扱いをお願いしたいと考えております。

市民の皆さんに購入していただいた商品券は、その取扱店舗どこでも使えるということになりますので、決して取扱店舗の、事業者の枠をオーバーしたので使えない、取扱店舗になれないということはありませんので、その点御理解くださいますようよろしくお願いいたします。

○相田克平議長　１番鳥海隆太議員。

○１番（鳥海隆太議員）　そのイニシャルコストの部分なのですけれども、せっかく導入するわけですからぜひどんどん使っていただいて、やはり電子化のいいところというのもあるはずですから、そういう部分ももし今回がいい実績といいますか、

やはり感触がいいというものであれば、そういった電子化というものにもどんどん取り組んでいただいたほうが、やはり市民にとってプラスになるのではないかと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

あと先ほどの取扱店ですが、やはり前回のように文書を１通送り、落選されて残念ですということではなくて、本当に全部取り扱ってもらいたいと、そのようにしていただきたいと。やはり公的なお金を使うわけですから、そこで線引きはすべきではなくて、やはり手を挙げたところは全部受け入れる、そういうことを貫いていただきたい。

以上です。

○相田克平議長　ほかに御質疑ございませんか。20番木村芳浩議員。

○２０番（木村芳浩議員）　私からは観光客誘致事業費について１点だけお伺いしたいと思います。

今年の春、ゴールデンウイークにかけまして山形県内それぞれの市町村でお祭りが開催され、この春に入りまして全国的にもそういう旅行客の流れが少しずつ戻ってきたのかなと感じ取ったわけでありますが、そうした中で県のやまがた春旅キャンペーン、先ほど御紹介があったような「よねざわ食旅！お得に日帰り旅行キャンペーン」のようなものが５月末でなくなり、米沢市としてはその後の６月に向けてもこういった予算をつけていこうということで、今回の臨時会に補正予算案が出されたわけでありますが、ただ、県としては１か月延長という発表がなされて、６月末までこれが使えるようになったということで、今回の市が取り組むキャンペーンと非常にかぶってきてしまうところがあると。

そうしますと、逆に事業者で県の補助を優先して取り扱っていただくのか、あるいは市が新たに今回パッケージとして出したものを取り扱っていただくのかという中で、ちょっとした混乱が生まれるかもしれないという危惧があるのです。その辺は本市としてはどのように捉えていらっしゃるのでしょうか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　今お話ありましたように、このたび県の支援施策、やまがた春旅キャンペーンが名称をやまがた夏旅キャンペーンと変えて、１か月間、６月末まで延長になったところであります。今週お聞きしました。このことについては、まだまだ戻ってきていない観光客について大変心配しておったところですが、こういう支援策が継続されたということは大変ありがたいと感謝しているところであります。

こういった中で、県のやまがた夏旅キャンペーン、県民ブロック割については、主に宿泊客に対する補助を通した、宿泊施設の活性化に向けた観光支援施策と捉えております。そのことに対して、このたび市独自で補正予算案で取り組む「よねざわ食旅！お得に日帰り旅行キャンペーン」につきましては、市内の飲食店の食事利用、そういう日帰り旅行への補助を通して、旅行エージェントであったり、あとは飲食店の活性化、そして市街地におけるにぎわいに波及させていこうという事業です。このような点から、県の継続された支援施策であるやまがた夏旅キャンペーン、県民ブロック割で対応できていない部分を補完しつつ、今回一緒に実施できることで相乗効果を発揮しながら、地域の観光産業を支援していきたいと考えているところでありますので、よろしくお願いしたいと思います。

○相田克平議長　木村芳浩議員。

○２０番（木村芳浩議員）　今、御説明ありましたように、市内の飲食店を対象とすると。県の支援対象は宿泊施設なのだという御説明でございますけれども、そうした場合に市内の飲食店、例えば日帰り旅行という話が今出たのですが、これは山形県内に在住する方ではなく県外の方も利用ができるという捉え方でよろしいのでしょうか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　このたびの支援施策の主目的

でありますのは、旅行エージェントであったり、あるいは市内の飲食店への支援を中心にしておりますので、御利用される方につきましては市内の方だけではなくて、当然市外の方もこちらの事業を御利用いただける、そのように考えております。

○相田克平議長　ほかに御質疑ありませんか。12番関谷幸子議員。

○１２番（関谷幸子議員）　おはようございます。

私からは１点お伺いさせていただきます。

このプレミアム付き商品券についてでございますけれども、今デジタル化が進んでいますので、当然こういうことが今後進んでいくのだろうということは思っております。予算も初期の段階ですから多分かかるのだろうと思っておりますけれども、このシステムを導入する場合にどういった方法で業者を選ぶか、教えていただけますか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　今回の商品券事業につきましては、紙とデジタルの両方になります。このため特に電子商品券のシステム、こちらが大事だと思っておりますけれども、このシステムにつきましては既に多くの事業者でシステム化をしているところでありますので、今回プロポーザルにより技術提案を求める必要はないと判断をした事業であります。

したがいまして、実績のある事業者による指名競争入札で業者を選定したいと考えております。

○相田克平議長　関谷幸子議員。

○１２番（関谷幸子議員）　今、プロポーザルでなくて入札ということでお話を伺いましたけれども、入札時にも内容を確認されるのだろうとは思いますが、やはり今の時代、プロポーザルでやったほうが間違いない業者を選べるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　プロポーザルについては、やはり様々な技術提案を求めながら、その業者の力量を見極める、そのような選定方法だと考えております。ただ、今回の事業につきましては、繰り返しになりますけれども、様々な技術提案を求める必要がない事業と捉えておりますので、入札による選定と判断をしたところであります。

○相田克平議長　関谷幸子議員。

○１２番（関谷幸子議員）　その入札のときにいろいろ技術的なものも伺うということで、間違いない業者を選ぶということで答弁いただきましたけれども、これはやはり今後デジタル化になる場合、この愛の商品券だけ、マイナンバーカードだけというように、毎回毎回システムを導入するのではなくて、何にでも使えるようなシステムにしていったほうが今後いいのではないかと思うのですが、その辺はどうお考えでしょうか。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　今回電子商品券の導入に当たりましては、せっかくこういうものを導入するわけですので、消費活動の流れもある程度可視化できるようにしていきたいと考えております。

その点につきましては、今回仕様書でそういった内容をしっかりと固めていきながら、今後の経済対策であったり、商業振興施策の検討に生かしていけるように、このシステム導入についてはしていきたいと考えているところです。

○相田克平議長　ほかに御質疑ありませんか。５番井上由紀雄議員。

○５番（井上由紀雄議員）　おはようございます。

私もプレミアム付き商品券のことについてお聞きしたいと思います。

プレミアム付き商品券の取扱店についてなのですけれども、今回の新型コロナウイルスワクチンの接種によって副反応が出る可能性があるということで、ドラッグストアから解熱鎮痛剤を買ったり、また医療機関においてはジェネリック医薬品の品薄等によって処方薬の価格の高騰が取り沙汰されています。

そういう中において、調剤薬局の薬剤についてもこの商品券を使えるようにできないか、お伺い

したいと思います。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　調剤薬局ということでありますけれども、取扱店舗については募集しますので、その点については御希望があればそういうことは可能だと考えております。

○相田克平議長　井上由紀雄議員。

○５番（井上由紀雄議員）　それでは、それに伴いまして医療費にもこのプレミアム付き商品券が使えるようにできるかどうか、お伺いしたいと思います。各病院、それから個人医院があるわけなのですけれども、その方々が今回の取扱店に応募した場合、それを受付していただけるかどうか、お願いいたします。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　大変申し訳ございませんが、医療機関については現在取扱いを考えていないところでありますので、よろしくお願いしたいと思います。

○相田克平議長　井上由紀雄議員。

○５番（井上由紀雄議員）　今回、やはり感染防止のために皆診療控えをして患者がなかなか来なくて経営が苦しいという個人医院もございますし、今回のキャンペーンの在り方がコロナによる消費喚起――消費喚起という言い方はちょっとおかしいかもしれませんけれども、その辺もうたっておりますので、その辺のお考えをお聞かせいただければと思います。

○相田克平議長　安部産業部長。

○安部晃市産業部長　今回のプレミアム付き商品券事業につきましては、事業者支援、そしてそれに加えましてここ最近の物価高騰による市民生活支援、これを主な目的として実施するものであります。

そういった中で、今御提案のありました医療機関については想定をしておりませんでしたけれども、可能かどうかということは検討させていただきたいと思います。まだ事業実施につきまして詰めていかなければならないことがありますので、その点については検討いたしますけれども、今御提案のあったことについてお応えできるかどうかということについては、今のところ明確にお答えできないということを御理解いただきたいと思います。

○相田克平議長　ほかに御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　なければ議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第37号を原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長　御異議なしと認めます。

よって、議第37号は原案のとおり決まりました。

閉　　会

○相田克平議長　以上で本臨時会に付議されました案件は全部議了いたしました。

これをもちまして令和４年米沢市議会５月臨時会を閉会いたします。

午前１０時２８分　閉　　会